



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月5日

上場会社名 東都水産株式会社

上場取引所 東

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江原 恒

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田中 浩

TEL 03-6633-1005

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	89,552	1.3	793	19.3	1,071	7.5	740	30.9
30年3月期第3四半期	90,742	1.0	983	14.4	997	20.9	565	42.2

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 462百万円 (52.6%) 30年3月期第3四半期 974百万円 (42.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	188.86	
30年3月期第3四半期	142.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	32,968	15,347	46.6	4,020.50
30年3月期	28,696	15,512	54.1	3,900.06

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 15,347百万円 30年3月期 15,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				65.00	65.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	1.9	800	43.1	1,100	25.8	800	18.3	204.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	4,026,000 株	30年3月期	4,026,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	208,676 株	30年3月期	48,599 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	3,918,421 株	30年3月期3Q	3,977,529 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
平成31年3月期第3四半期の個別業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、平成30年7月～9月に発生した自然災害等の影響により落ち込みを見せるも被害の影響は一巡し、企業収益、所得は堅調に回復、設備投資も増加基調で推移しております。

一方海外経済においては、米中貿易摩擦や米国の利上げによる新興国からの資金流出、中国経済の消費減速、欧州経済の不確実性等先行き不透明な状況にあります。

水産物卸売市場業界におきましては、魚価は回復傾向にあるものの、消費者の食料品への低価格・節約志向は根強く、安全・安心な商品に対するニーズは依然として高く、また、海外での需要増加により仕入価格が高止まりし、水産物及び漁獲量の減少や市場外流通との競合とも相俟って、取扱数量が減少する厳しい事業環境で推移しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期連結累計期間と比べ1.3%減少の89,552百万円となりました。営業利益は人件費及び販売諸経費の縮減等経費の削減に努めましたが、売上総利益率の低下により、前年同四半期連結累計期間と比べ19.3%減少の793百万円となりました。経常利益は受取配当金の増加及び為替差益の計上等により前年同四半期連結累計期間と比べ7.5%増加の1,071百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期連結累計期間と比べ30.9%増加の740百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①水産物卸売事業

売上高につきましては、取扱数量の増加等により、前年同四半期連結累計期間と比べて1.1%増加の82,971百万円となりました。営業利益は、人件費及び貸倒引当金繰入額の減少により、前年同四半期連結累計期間と比べて114.9%増加の326百万円となりました。

②冷蔵倉庫及びその関連事業

売上高につきましては、AERO TRADING社の売上高の減少及び東水フーズ㈱が平成30年3月31日をもって解散したこと等により、前年同四半期連結累計期間と比べて25.6%減少の6,117百万円となりました。営業利益は売上総利益率の低下及び㈱埼玉県魚市場の物流センター稼働に伴う減価償却費の増加等により前年同四半期連結累計期間と比べて52.8%減少の294百万円となりました。

③不動産賃貸事業

売上高につきましては、賃貸物件の一部譲渡等により、前年同四半期連結累計期間と比べ3.9%減少の463百万円、営業利益は前年同四半期連結累計期間と比べて7.3%減少の176百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ4,271百万円増加し、32,968百万円となりました。流動資産は4,272百万円増加し、20,759百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が3,229百万円、商品及び製品が1,284百万円増加したことによるものです。固定資産は1百万円減少し、12,209百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物が126百万円、工具、器具及び備品が109百万円、無形固定資産が104百万円増加したものの、建設仮勘定が174百万円、投資有価証券が165百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ4,436万円増加し、17,620百万円となりました。流動負債は2,605百万円増加し、10,730百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が3,905百万円増加したことによるものです。固定負債は1,830百万円増加し、6,890百万円となりました。主な要因は、長期借入金が1,784百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ164百万円減少し、15,347百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.1%から46.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年11月9日に発表しました数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,321	6,593
受取手形及び売掛金	6,781	10,010
商品及び製品	3,004	4,289
仕掛品	5	9
原材料及び貯蔵品	205	249
その他	959	453
貸倒引当金	△792	△847
流動資産合計	16,486	20,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,419	3,546
土地	3,206	3,202
その他(純額)	1,393	1,223
有形固定資産合計	8,019	7,972
無形固定資産	1,582	1,686
投資その他の資産		
その他	2,825	2,755
貸倒引当金	△216	△205
投資その他の資産合計	2,608	2,550
固定資産合計	12,210	12,209
資産合計	28,696	32,968
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,798	6,704
短期借入金	3,504	3,076
未払法人税等	28	21
賞与引当金	78	23
その他	1,714	904
流動負債合計	8,124	10,730
固定負債		
長期借入金	2,041	3,826
退職給付に係る負債	1,367	1,301
株式給付引当金	22	20
資産除去債務	45	83
その他	1,583	1,657
固定負債合計	5,059	6,890
負債合計	13,184	17,620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,048	1,048
利益剰余金	11,391	11,870
自己株式	△97	△462
株主資本合計	14,719	14,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	605	472
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	360	360
為替換算調整勘定	△157	△330
退職給付に係る調整累計額	△15	12
その他の包括利益累計額合計	792	514
純資産合計	15,512	15,347
負債純資産合計	28,696	32,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	90,742	89,552
売上原価	85,592	84,838
売上総利益	5,149	4,713
販売費及び一般管理費	4,166	3,919
営業利益	983	793
営業外収益		
受取利息	24	34
受取配当金	55	118
受取補償金	—	56
為替差益	—	36
その他	43	95
営業外収益合計	123	342
営業外費用		
支払利息	18	24
割増退職金	—	18
為替差損	80	—
その他	10	21
営業外費用合計	109	64
経常利益	997	1,071
特別損失		
減損損失	209	—
特別損失合計	209	—
税金等調整前四半期純利益	787	1,071
法人税、住民税及び事業税	221	162
法人税等調整額	0	169
法人税等合計	222	331
四半期純利益	565	740
親会社株主に帰属する四半期純利益	565	740

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	565	740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126	△132
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	238	△173
退職給付に係る調整額	44	27
その他の包括利益合計	409	△277
四半期包括利益	974	462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	974	462
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	82,039	8,221	481	90,742	—	90,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	656	1,266	86	2,008	(2,008)	—
計	82,695	9,487	568	92,751	(2,008)	90,742
セグメント利益	152	624	190	967	16	983

(注)1. セグメント利益の調整額16百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産賃貸事業」において、当社が保有する船橋工場の土地及びその他の有形固定資産について、売却が決定したことにより帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は209百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	82,971	6,117	463	89,552	—	89,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	256	1,013	55	1,325	(1,325)	—
計	83,227	7,131	518	90,877	(1,325)	89,552
セグメント利益	326	294	176	798	(4)	793

(注)1. セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等でありま
す。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

平成31年3月期第3四半期の個別業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	66,993	1.7	392	97.2	668	53.2	535	149.8
30年3月期第3四半期	65,891	△1.7	199	△3.9	436	△48.8	214	△73.6